

A0701-02	製造装置内の洗浄を甘く見るな		
本文	製造装置を洗浄する場合に、内容物と反応しない洗浄液を使用し、且つ洗浄液を残留させないこと。		
リスクの種類	火災、爆発	関連目次・章節	
理由(何故)	製造装置などを洗浄する場合に、内容物と反応する、或いは内容物に対して触媒作用が働く洗浄液(剤)が微量でも存在すると、内容物が化学反応を起こし、思わぬ火災、爆発を生じるため。		
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・微量でも内容物に対して反応したり触媒作用が働く可能性のある洗浄液は使用しない。 ・洗浄後に洗浄液を適正に処置し、洗浄液が残留していないことを確認する。 		
事故例	<p>オルソニトロクレゾール製造装置の洗浄にアルカリを使用し、洗浄後に水洗したが、アルカリが微量残留していたため、次のバッチでオルソニトロクレゾールが残留していたアルカリと異常反応(重縮合反応)を起こし、乾燥機内で小爆発が発生した。</p> <p>(1989年3月、化学工場、三重県)</p>		
法的参考事項			
備考	JST失敗事例より		